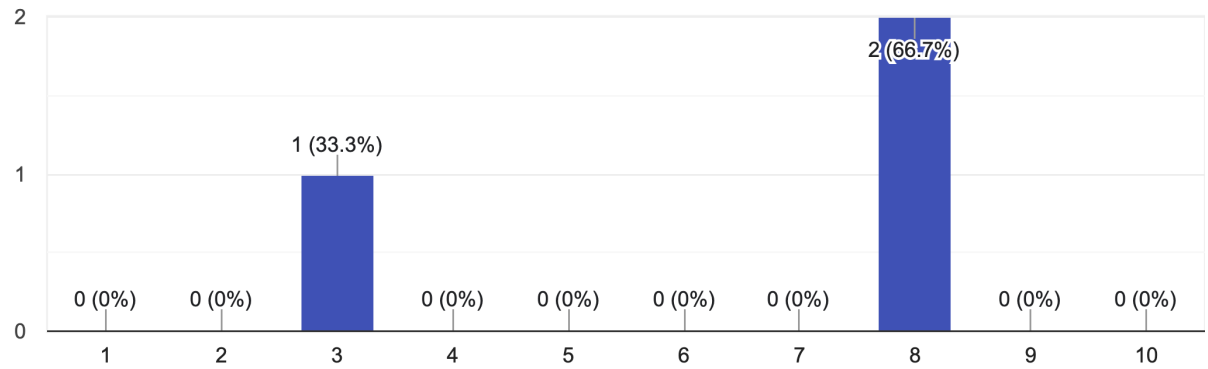


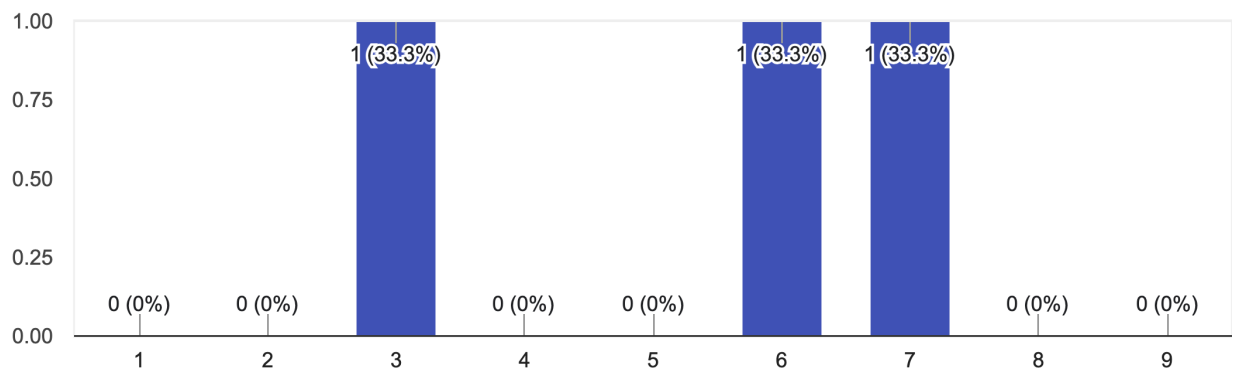
読みやすさ

3 件の回答



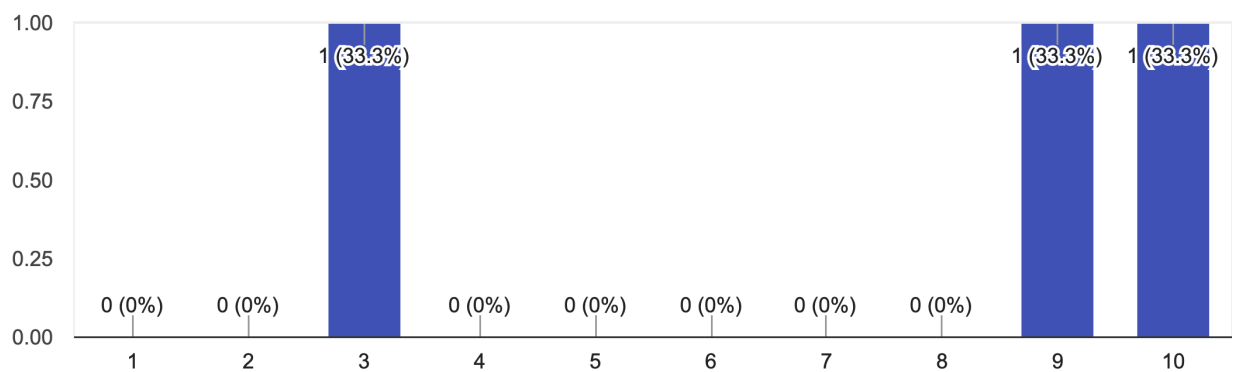
要素の詰め込み具合

3 件の回答



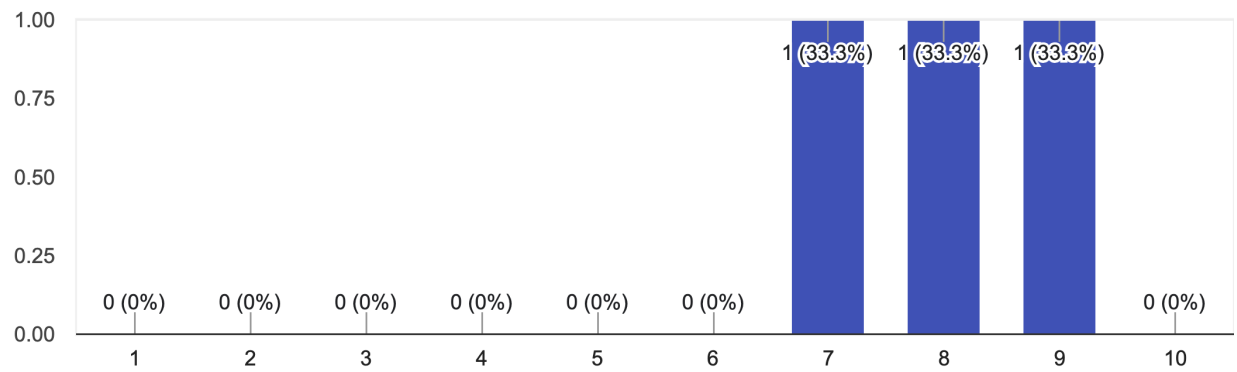
全体のまとめ

3 件の回答



全体を通して１０段階で評価すると

３件の回答



評価アンケ

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

☒ OK

☐ だめ

☐ その他:

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

文章ルールの間違い・誤字等ご報告はこちらをお願いします。

- ・誇張表現なら構いませんが、【永遠に渡っている】は【延々と渡っている】とするのが一般的です。
- ・【川から落ちちゃって】→「川に落ちちゃって」でしょうか。

良かった点を教えてください。

- ・ 作中の設定が大胆なので、エンタメ性が高く興味を惹かれます。
- ・ お盆の期間は帰省や旅行で交通網が混雑する時期ですが、それを霊界と通じる道という設定に落とし込んだところが、素晴らしい発想だと思います。霊の密度が高いほど、人間に見えやすくなる.....だから心霊スポットも生まれるという設定にも説得力があり、こういった補足説明が作中で起きている事柄の解像度を高めています。
- ・ 語り口はライトでコミカルながら、亡くなった人や動物によって地上の人々がそれぞれに影響を受け、感情を揺さぶられ、暮らしぶりが変容しているのを見ると、なんとも言えない気持ちになりますね。死者が霊界と地上を自由に行き来できるようになったわけではなく、一時的に、非常事態として地上に留まって目に見えるようになっているだけ.....軽やかな文体の底に、消しきれない寂しさが見え隠れするような.....。
- ・ 【日本では昔から幽霊や妖怪を絵や小説にして残し、幽霊を恐れるようにしたのだという。亡くなった人を、ちゃんと弔うように。霊の悲しみを少しでも和らげるように】→これもコミカルな中に、ふと切なさを添えるような部分で良いですね。ただ、脈絡無く突然出てくるので.....勿体ぶって重要な場面で使われたらもっと効果的だと思います。
- ・ 【ここまで聞いてお父さんはチャンネルを野球に変えた】→こういうさり気ない動作を、余分な説明無くさりりと入れてあるの非常に良いです！「ミカちゃんのことを気遣ってのことか、」というような前置きがあったらよしくなかった。
- ・ これ、カクヨムで完結済みに設定されていますが、これで終わっちゃうんですか.....！？ とても大きな風呂敷（それもかなり面白くなりそうな）を広げたのに、ここで終わってしまうのはもったいないような気がしました。しっちゃんめっちゃかになった地上。ミカちゃんは泣き続けている。でも、時間はかかりそうだけど解決の見込みはありそう.....本当に一時的な現象で、お別れは避けられないのかも。この終わり方でもいいのかもしれないけど.....。
- ・ 死者、お盆、幽霊.....と、重々しくなりがちなものを取り扱いながら、全体はコメディタッチで軽い書き口になっている。せっかく再会できたのにまたお別れなんて.....という湿っぽくお涙頂戴な展開にならないところが、この作品の良さと言えるかもしれません。全体の設定を見るに、映画「黄泉がえり」を連想しますが、違う方向性になっています。あちらは、なぜ死者が蘇ってきたのかを調べる中で、かつて失った人達と再会する.....という感じですが、本作は現象の原因が説明された上で、皆がそれぞれに受け止めたり受け入れたりした話ですね。いいなあ、こういうの。起こってしまったことは、もう無かったことにはできない。作中の人達は戸惑いもありながらも、死者への恐怖や忌避感を示さない。この空気感と、もみあげ大将さんのカラっとした文体は相性が良いなと思います。

よくなかった、批判点などを教えてください。

・【九月に入ったがお盆がまだ終わらない。本来ならば十六日に終わるはずだというのに、夏休みが終わってもお盆が終わらないのだ】→【九月に入ったが】という出だしはインパクトがあって良いと思うのですが、それを活かすためにも【本来ならば十六日に終わるはずだというのに、夏休みが終わってもお盆が終わらないのだ】を挟まず、【遡ること八月二十日】と場面転換に直接繋げた方が良いと思いました。

・作中で扱われる“霊界”の設定が説明不足で、冒頭から何を言っているのか何が起きているのか読み解くのに労力を割かれました。

【お盆が終わっても死者がちゃんと戻るように、と霊界に戻りたくるような大きなイベントをお盆終わりに開催しようと霊界日本支部は考え】→「死者は地上に戻りたいし、できれば霊界に帰りたくはない」という前提条件が作者の頭にあるのだらうと思いましたが、読者側が必ずしもそう考えているとは限らないので、作中ではそういう設定であると説明した方が良いと思います。「お盆は毎年、死者達にとって地上に帰れる待望のビッグイベントである」というような記述を入れるとか。

さらにややこしくしているのが【お盆が終わっ”ても”死者がちゃんと戻るように】という書き方です。「お盆が終わっ”たら”死者がちゃんと霊界に帰るように」と言葉遣いの修正&「戻る・帰る」の使い分けをするなどして設定が正しく伝わるようにすると、分かりやすくなるかと思います。

・【人間の幽霊どころか虹の橋の向こうにいる動物の霊たちまでが一斉に逃げ出した】→霊界にいる人間の霊は“幽霊”ではありませんよね？ 幽霊は地上に残ってさまよう霊を指すものと理解しています。また、この書き方だと、人間の幽霊(霊)の中にも騒ぎに乗じて逃げ出した者がいるように読めますが、実際にはそうではないはず.....？

・【清めの塩の力もあって漬物になるらしい】→映像として浮かんでできません。食卓のそばでポニーくらいの大きさの精霊馬がいて、漬物になっているということ.....？

・複数人のセリフが続く場面がありますが、誰が発言しているのか分からないところがありました。例えば、【ああ。ミカちゃんとこのお母さんとお父さん、あまり仲良くなかったからね。転校もその関係でしょ？】の場面では自分・兄・母・祖母がいますが、誰の発言かすぐには特定できません。全てのセリフに「誰々が言った」と付け加える必要はありませんが.....例えば、上記のセリフは恐らく母親かと思いますが「お母さんが思い出したように割って入ってきた」のような、動作を添えながら誰が発言したかを提示する場面は必要かと思います。

・【ミカちゃんは何も答えない。話したくないんだろうな。それか、難しいことがあるんだろうな。うん、うん、と頷いた】→「ミカちゃんは何も答えない。口にできない理由があるのだろう。私はただ、うんうんと相槌を打った」のような書き方の方が、小説らしい地の文になると思います。

・オチというか、着地点というか、終盤は急に話が畳まれてしまい、尻切れトンボ感がありました。この設定をもっと活かしてほしい気持ちはあります。起承転結の「起承」あたりで止まっている印象です。いやいや、ここからじゃんって。思い切った設定を作られただけに、もったいない.....！

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

要素の詰め込み具合

1（少ない）～5（適切）～9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐

全体のまとまり

1（まとまりがない）～10（まとまりがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

途中に「ミカちゃん」を思わせるようなニュースをいくつか入れましたが（ミカちゃんのお母さんは家に帰らず不倫相手と結婚してミカちゃんのことを忘れています）わかりにくいかな、逆にくだらないか。不自然ではないか教えていただければ幸いです

【Fさんご夫婦が見知らぬ子供に「お母さん」と追いかけてまわされてノイローゼになった】【私のこと、知りませんか、覚えていませんか、と子どもの幽霊が声をかけて回ったり】あたりでしょうか。読み終えて、「ああ、あのニュースってミカちゃんのことか！」とはなりませんでした。全然繋がらなかった。

そもそも、ミカちゃんは最後の最後でちょろっと出てくるくらいなので、伏線を張るほど重要な人物だとは思いませんでした。

でも、気付く人は気付く要素が入った小説は好きです。

ブラックジョークを目指して書いたのですが、「不謹慎すぎて笑えない」をのボーダーを気にして書きました。「不謹慎」か「許容範囲」か教えていただきたいです

不謹慎とは思いませんでした！ 言われてみれば、ちょっと皮肉めいた部分もありますね。霊の動きをコントロールしようと政策を実施したら思ったように上手くいかず、その対策が後手に回ってしまうところとか。先祖が可視化されたことで、子孫に対して持っている不満をぶちまけるとか。世代間の価値観ですれ違いがあるところとか。作品の良い味になっていると思いました。

ボーダーはですね.....非常に難しい。昨今言われるような「誰も傷付けない作品」を創作することは不可能だし、それを気にしすぎるがあまり無味乾燥な作品になってしまうのはよろしくないと思います。戦争賛美して人々を扇動するような作品（小説を読み物としてではなく、ただ戦争の道具として使う）じゃなければ、原則的にフィクションとして許されるべきだと考えています。

商業的に公開される作品については、それが社会にどういった影響を与えるか、特定層の人々を追い詰めたり生きづらくしたりしてしまわないか、考慮する必要があるかと思います。

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐

その他何か感想があればお願いします

読みやすさとしては引っ掛かる部分が多々あるものの、設定自体の力・設定に説得力を与える描写については強大な力があり、トータルとして見ると面白い作品でした。

小説らしく整えた文体で語ることを心掛けたら、突如として化ける作品であり、作者だと思っています。読書量を増やすのはもちろんのこと、読んだものを分析して自分の技術にする努力を続けたら、唯一無二の書き手になるポテンシャルをひしひしと感じています。

吸血鬼の話に脳を焼かれて以来、いまだにあのラストが映像となって何度も脳裏に蘇ってきます。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケート

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

☒ OK

☐ だめ

☐ その他:

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）をお願いします。特に何も感じない、普通の場合は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいても大丈夫です。

文章ルールの間違い・誤字等ご報告はこちらをお願いします。

- ・「霊道〇九八三線（何番まであるんだよ）」とありますが、日本国道の数え方は「番」ではなく「号」です。霊会でも日本の国道方式に沿いつけているというギャグなら「霊道〇九八三号線（何号線まであるんだよ）」とかがいいかと思います。
- ・「私もまあウザいな...とは思うけど」の部分だけ三点リーダーが1つなのでおそらく誤字かと思います。
- ・ミカちゃんのセリフ「.....覚えてる人がいないかと思って。いっぱい歩いたら。ここにきて」だけカギカッコが『』になっていないので、おそらく誤字かと思います。

良かった点を教えてください。

- ・「一平方メートルに霊が三人いるらしい」めちゃくちゃ好きです。新聞紙開いたぐらいの面積なので通常の人間だと絶対ありえない密度なのが伝わってきていい。
- ・「お爺ちゃんが可視化された」「渋滞に負けた精霊馬のナスとキュウリ」等の独特の発想について、とてもセンスがいいと思います。
- ・コメディ調で進行する中、読者からはミカちゃんの登場で雰囲気が一変したように見えて、実際の登場人物たちの現実の捉え方や雰囲気は一貫しているのがブラックジョーク的で素晴らしいと思いました。ここで文章の雰囲気も変えてしまえるような劇的なポイントなのに、湿っぽさがなく、読者が一方的にぎくしゃくするだけで物語はいつも通りといった調子で進んでいく作劇がたいへん好みます。

よくなかった、批判点などを教えてください。

文章が全体的に面白く、具体的にどこを.....と言われると困ってしまうのですが、短いからこそ輝くストーリーだと感じたので、前半パートを少し削ってもいいかもしれないと思いました。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐

要素の詰め込み具合

1（少ない）～5（適切）～9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐

全体のまとまり

1（まとまりがない）～10（まとまりがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒

途中に「ミカちゃん」を思わせるようなニュースをいくつか入れましたが（ミカちゃんのお母さんは家に帰らず不倫相手と結婚してミカちゃんのことを忘れています）わかりにくいかな、逆にくだらないか。不自然ではないか教えていただければ幸いです

私の読解力と推測力が不足しているという説が有力ですが、この質問を読むまで気づきませんでした。全体を通してワードチョイスのインパクトが強く、ニュース内容にあまり注意がなかったのも、強調したいポイントであればもうすこし露骨にしてもいいかもしれません。

ブラックジョークを目指して書いたのですが、「不謹慎すぎて笑えない」をのボーダーを気にして書きました。「不謹慎」か「許容範囲」か教えていただきたいです

個人的にはブラックジョークの範疇だと思いました。全体的にカラッとしていて世界観のパンチが強く、不謹慎さを感じさせないのがよく作用していると思います。

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐

その他何か感想があればお願いします

「お盆の延長戦」という根幹の設定自体は探せば他にもありそうなところ、独自路線で切り込んでしっかりジョークとしてまとめきっているのが見事だと思いました。犬の名前が全部ポチ、パツと遊びに出かける時に持ち出すのが100均のクリアポーチ、お父さんが変えるチャンネルが野球など、日常的なあるあるの質感が妙にリアルなのも好きです。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケ

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

☒ OK

☐ だめ

☐ その他:

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）をお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

文章ルールの間違い・誤字等ご報告はこちらをお願いします。

「.....覚えてる人がいないかと思って。いっぱい歩いたら。ここにきて」
二重鉤括弧が幽霊のセリフだと思うので、ここは二重鉤括弧ではないでしょうか？
.....

良かった点を教えてください。

「夢の大決戦！薩摩藩士VSスパルタ」楽しそう

悪霊になってしまった幽霊は処理を行います.....

そこまで聞いてお父さんはチャンネルを野球に変えた。
お父さん優しい...気遣いできる

よくなかった、批判点などを教えてください。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐

要素の詰め込み具合

1（少ない）～5（適切）～9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐

全体のまとめり

1（まとめりが無い）～10（まとめりがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐

途中に「ミカちゃん」を思わせるようなニュースをいくつか入れましたが（ミカちゃんのお母さんは家に帰らず不倫相手と結婚してミカちゃんのことを忘れています）わかりにくいかな、逆にくだらないか。不自然ではないか教えていただければ幸いです

多分理解が曖昧なので自分の読み取ったものを書きます。

ミカちゃんは存命の時に離婚して去ったお母さんを探しに一人で出かけ、川で亡くなった。

幽霊騒動で母親を探したけど、母親に覚えられておらず、自分を覚えてる人を探して主人公の元にきた。

『.....お母さん、さがしたけど.....』

というセリフしかなく、考えたら離婚してすぐ（存命時）だと忘れられるわけがないので、お盆延長で幽霊になってから母親に会って、忘れられていたんだなと理解しました。

というか『Fさんご夫婦が見知らぬ子供に「お母さん」と追いかけてまわされてノイローゼになった』このニュースってミカちゃん...？

ブラックジョークを目指して書いたのですが、「不謹慎すぎて笑えない」をのボーダーを気にして書きました。「不謹慎」か「許容範囲」か教えていただきたいです

許容範囲だと思います

主人公のご先祖様たちは愉快だけど、東京の例で出てくるように死者をぞんざいに扱っているいる者に対して攻撃的なところとか、日本の幽霊感に沿ってるな～と思いました。

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐

その他何か感想があればお願いします

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム